



目 次

1. 概説 ----- 1
 1-1. 取扱説明書のスコープ ----- 1
 1-2. 形式説明 ----- 1
 1-3. 仕様 ----- 1
 2. 据え付け ----- 4
 2-1. 627シリーズ共通 ----- 4
 2-2. 627M、627HM、627MR形 ----- 5
 2-3. 遠隔ベントラインの据え付け ----- 6
 2-4. 627Mまたは627HM形レギュレータ凍結防止システムアプリケーション ----- 6
 3. 立ち上げと調整 ----- 6
 3-1. 立ち上げ ----- 6
 3-2. 調整 ----- 6
 3-3. 作動停止 ----- 6
 4. 保守 ----- 9
 4-1. 627Rと627MR形レギュレータの不具合指示 ----- 9
 4-2. ボディ部の保守要領 ----- 10
 4-2-1. ディスク組品またはシートリングの交換 ----- 10
 4-2-2. ステム組品の交換 ----- 10
 4-2-3. 627、627H、627R形 ----- 10
 4-2-4. 627M、627HM、627MR形 ----- 10
 4-3. ダイヤフラムとスプリングケース部の保守要領 ----- 11
 4-3-1. 627、627H、627M、627HM ----- 12
 4-3-2. 627R、627MR ----- 13
 5. 部品注文 ----- 13
 部品表 ----- 17

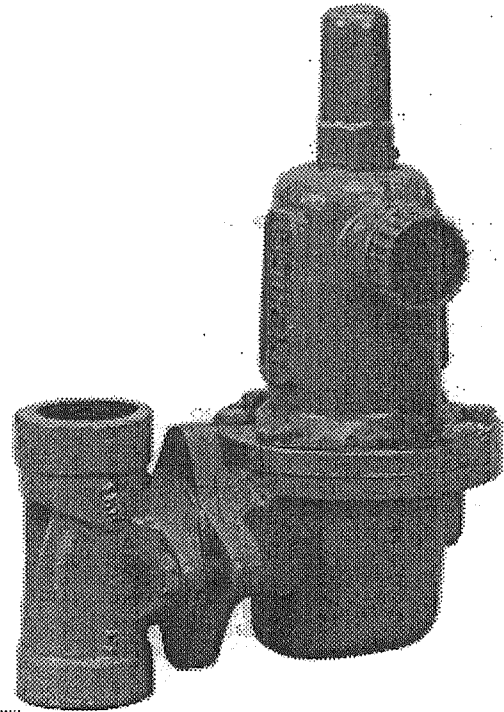


図 1. 627シリーズ自力式減圧レギュレータ (代表事例)

1-2. 形式説明

627形減圧レギュレータ(図1)には高圧と低圧システム用があります。これらのレギュレータは天然ガス、空気、その他多種類のガスに使用することができ、また構造によって種々の特性を有しています。(詳しくは表1を参照下さい。)

1-3. 仕様

表1は627形レギュレータの一般仕様を示したものです。個々のレギュレータの詳細仕様は、工場出荷時、ネームプレート上に示してあります。

1. 概説

1-1. 取扱説明書のスコープ

この取扱説明書は、627形レギュレータの据え付け、調整、保守および部品について説明しています。これらのレギュレータは他の機器に取り付けて出荷されることもあります。一般的には単品出荷されます。他の機器については、別の取扱説明書を参照下さい。

表 1. 仕様

形式番号	ボディ最大出口圧力 ⁽¹⁾ (627M、627MR、および627HMのみ)
<p>627形：大容量用にピトーチューブを備えた自力式減圧レギュレータ（図6を参照下さい。）</p> <p>627R形：内部リリーフとオープンスロット付きの627形（図7を参照下さい。）</p> <p>627H形：高い出口圧力を送り出すためダイヤフラムリミッタ付きの627形（図10を参照下さい。）</p> <p>627M形：ボディ出口圧力とダイヤフラムケースの間にステムシール付きの627形。圧力は1/4NPTの下流側コントロールライン接続を通して測定されます。（図8を参照下さい。）</p> <p>627MR形：内部リリーフ付きの627M形（図9を参照下さい。）</p> <p>627HM形：ボディ出口圧力とダイヤフラムケースの間にステムシール付きの627H形。圧力は1/4NPTの下流側コントロールライン接続を通して測定されます。（図11を参照下さい。）</p>	<p>ねじ込み形鋳鉄ボディ：138bar {140kgf/cm² G}</p> <p>RFフランジ形鋳鉄ボディ：102bar {104kgf/cm² G}</p> <p>ダクタイル鋳鉄ボディ：69bar {70.3kgf/cm² G}</p> <p>(627、627H、および627R形は最大ダイヤフラムケーシング圧力によって制限を受けます。)</p>
ボディサイズ	内部リリーフ性能
■3/4、■1、または■2インチ	<p>627R形：表4を参照下さい。</p> <p>627MR形：現場設置のコントロールライン配管により制限されます。</p>
接続スタイル	リリーフ作動表示
<p>ねじ込み形：3/4、1または2NPT</p> <p>フランジ形：ANSIクラス300および600RFフランジ付き1または2インチ</p>	627Rおよび627MR形に付属（図7と9を参照下さい。）
最大入口圧力 ⁽¹⁾ （ボディ定格）	許容温度範囲
<p>ねじ込み形鋳鉄ボディ：138bar {140kgf/cm² G}</p> <p>RFフランジ形鋳鉄ボディ：102bar {104kgf/cm² G}</p> <p>RFフランジ形ダクタイル鋳鉄ボディ： 69bar {70.3kgf/cm² G}</p>	-29~82°C
バルブディスク最大入口圧力定格 ⁽¹⁾	圧力レジストレーション
<p>ナイロンディスク：138bar {140kgf/cm² G}</p> <p>ニトリルディスク：69bar {70kgf/cm² G}</p> <p>ふっ素ゴムディスク：14bar {14kgf/cm² G}</p>	<p>627、627H、または627R形：内部</p> <p>627M、627HM、または627MR形：外部、ダイヤフラムケースの1/4NPTめすコントロールライン接続による。</p>
最大作動入口圧力、差圧および出口圧力範囲 ⁽¹⁾	連結防止システム
各ポート径およびスプリングに対する圧力については表2を参照下さい。	図2および627M形連結防止システムアプリケーションの項を参照下さい。
最大スプリングおよびダイヤフラムケーシング圧力 ⁽¹⁾	スプリングケースベント接続
表3を参照下さい。	3/4NPTの取り外し可能スクリーン付きベント組品。
	コントロールライン接続
	1/4NPT雌ネジ
	概算質量
	<p>ダクタイル鋳鉄または鋳鋼製ケーシング付き：4.5kg</p> <p>アルミニウムケーシング付き：2.8kg</p>
1. この説明書およびその他適用されるコードに示される圧力/温度制限値を超えて使用しないで下さい。	

表 2. 最大作動入口圧力、差圧および出口圧力範囲

形式番号	出口圧力レンジとコントロール スプリング番号 (カラーコード)	ポート径		最大入口圧力 barG (kgf/cm ² G)	最大差圧 bar (kgf/cm ²)
		mm	in		
627 と 627M ⁽⁹⁾	0.34 ⁽²⁾ ~ 1.4barG {0.35 ⁽²⁾ ~ 1.4kgf/cm G} 10B3076 x 012 (イエロー)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}
		4.8	3/16	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}
		6.4	1/4	34.5 {35.1}	34.5 {35.1}
		9.5	3/8	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}
	12.7	1/2	17.2 {17.6}	17.2 {17.6}	
	1.0~2.8barG {1.0~2.8kgf/cm G} 10B3077 x 012 (グリーン)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}
		4.8	3/16	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}
		6.4	1/4	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}
		9.5	3/8	34.5 {35.1}	34.5 {35.1}
	12.7	1/2	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}	
2.4~5.5barG {2.4~2.6kgf/cm G} 10B3078 x 012 (ブルー)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	3.2	1/8	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	4.8	3/16	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	
	6.4	1/4	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	
	9.5	3/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}	
12.7	1/2	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}		
4.8~10.3barG {4.9~10.5kgf/cm G} 10B3079 x 012 (レッド)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	3.2	1/8	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	4.8	3/16	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	6.4	1/4	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	
	9.5	3/8	86.2 ⁽¹⁾ {87.8 ^{(1)}}	86.2 ⁽¹⁾ {87.8 ^{(1)}}	
12.7	1/2	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}		
627R と 627MR	0.34 ⁽²⁾ ~ 1.4barG {0.35 ⁽²⁾ ~ 1.4kgf/cm G} 10B3076 x 012 (イエロー)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}
		4.8	3/16	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}
		6.4	1/4	34.5 {35.1}	34.5 {35.1}
		9.5	3/8	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}
	12.7	1/2	13.8 {14.0}	13.8 {14.0}	
	1.0~2.8barG {1.0~2.8kgf/cm G} 10B3077 x 012 (グリーン)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}
		4.8	3/16	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}
		6.4	1/4	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}
		9.5	3/8	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}
	12.7	1/2	13.8 {14.0}	13.8 {14.0}	
2.4~5.5barG {2.4~2.6kgf/cm G} 10B3078 x 012 (ブルー)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	3.2	1/8	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	
	4.8	3/16	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}	
	6.4	1/4	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}	
	9.5	3/8	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}	
12.7	1/2	13.8 {14.0}	13.8 {14.0}		
4.8~10.3barG {4.9~10.5kgf/cm G} 10B3079 x 012 (レッド)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	
	3.2	1/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}	
	4.8	3/16	34.5 {35.1}	34.5 {35.1}	
	6.4	1/4	20.7 {21.0}	20.7 {21.0}	
	9.5	3/8	13.8 {14.0}	13.8 {14.0}	
12.7	1/2	13.8 {14.0}	13.8 {14.0}		
627H と 627HM ⁽⁹⁾	9.7~17.2barG {9.8~17.5kgf/cm G} 10B3078 x 012 (ブルー)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		4.8	3/16	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}
		6.4	1/4	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}
		9.5	3/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}
	12.7	1/2	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}	
	16.5~34.5barG {16.8~35.1kgf/cm G} 10B3079 x 012 (レッド)	2.4	3/32	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		3.2	1/8	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}	138 ⁽¹⁾ {140 ^{(1)}}
		4.8	3/16	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}	121 ⁽¹⁾ {123 ^{(1)}}
		6.4	1/4	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}	103 ⁽¹⁾ {105 ^{(1)}}
9.5		3/8	69.0 {70.3}	69.0 {70.3}	
12.7	1/2	51.7 {52.7}	51.7 {52.7}		

- 69barG {70.3kgf/cm²G} を超える入口圧力については、"仕様" の最大入口圧力 (ボディ定格) と最大バルブディスク入口圧力定格を参照して下さい。
- 0.69barG {0.70kgf/cm²G} 以下の圧力設定では、設定点の調整を可能とするため入口圧力を約6.9barG {7.0kgf/cm²G} までに制限して下さい。
- ワイドオープンモニタモードからレギュレータモード変更は、アンバランス力が変わるので、ワイドオープンモニタとして使用する627Mまたは627HM形には9.5mm以上の径のシートリングを選定して下さい。

表 3. 最大スプリングおよびダイヤフラムケーシング圧力⁽¹⁾

	スプリングおよび ダイヤフラムケーシング スタイル	627形	627R形	627M形	627MR形	627Hおよび 627HM形
		barG (kgf/cm ² G)				
リリース作動時以外に大気放出しない最大圧力（内部パーツの損傷があり得ます）	アルミニウムダイキャスト	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	---	---	---
	ダクタイル鋳鉄	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	---
	鋳鋼	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	17.2 {17.5}	55.2 {56.2}
異常作動時、スプリングおよびダイヤフラムケーシングの破壊を起こさない最大圧力（大気放出と内部パーツの損傷があり得ます）	アルミニウムダイキャスト	25.9 {26.3}	25.9 {26.3}	---	---	---
	ダクタイル鋳鉄	32.0 {32.6}	32.0 {32.6}	32.0 {32.6}	32.0 {32.6}	---
	鋳鋼	103 {105}	103 {105}	103 {105}	103 {105}	103 {105}
内部パーツの損傷を起こさないため、設定圧力にプラスできる圧力	すべてのスタイル	4.1 {4.2}	8.3 {8.4}	4.1 {4.2}	8.3 {8.4}	8.3 {8.4}

1. スプリングケースに圧力がかかる場合は、金属製のアジャスティングスクリーキャップが必要となります。販売代理店または弊社セールスエンジニアへお問い合わせ下さい。

警告

このレギュレータに過大な圧力がかかったり、レギュレータ使用条件が表1、2、3および4に示す制限値を超えたり、またはレギュレータに接続している配管/接手類の定格を超えると、ガスの噴出または耐圧部品の破壊によって、人身事故または設備の損傷を起こすことがあります。

このような人身事故または設備の損傷を避けるためには、適切な安全装置、または圧力を制限する装置を備えて下さい。インターナルリリース付き627Rまたは627MR形は、表1、2、3および4に示す制限値内に下流側の過圧保護を行って下さい。もしこれらの制限値を超えるならば、追加の下流側過圧保護装置をご使用者側にて用意下さい。

さらに、レギュレータの物理的損傷は、ガスの噴出による人身事故または設備の損傷の原因となります。このような事故を避けるために、レギュレータは安全な場所に設置して下さい。

2. 据え付け

レギュレータをその定格内で作動させていても、配管中の異物または外部要因によって損傷が起きる可能性があります。

ります。レギュレータを定期的に、または過圧状態になった直後には必ず点検して下さい。この項でのキー番号は図6から11を参照して下さい。表1の許容温度範囲を超えて使用しないで下さい。他のレギュレータ同様に、627形レギュレータの出口側圧力定格は入口側より低くなっています。入口側圧力が出口側圧力定格を超えている場合には、627、627H、627M、627HM形レギュレータにはリリース装置を内蔵していませんので、ご使用者側において、適切な圧力安全装置または圧力を制限する装置を設けて下さい。

627R形レギュレータには、出口圧力が設定値を超えないように制限する内部リリースを備えています。表4を使用して出口圧力を決めて下さい。もし、追加の圧力安全装置または圧力制限装置が下流側になくても、この内部リリースはアプリケーションに対して十分に機能するでしょう。

注記

レギュレータが他の機器に取り付けて出荷されたときには、その機器の取扱説明書にしたがって据え付けして下さい。

2-1. 以下のステップ1から6までは、すべての627シリーズレギュレータに適用します。

1) このレギュレータの据え付け、作動および保守は、訓練を受け、経験豊富な熟練技術者が実施して下さい。

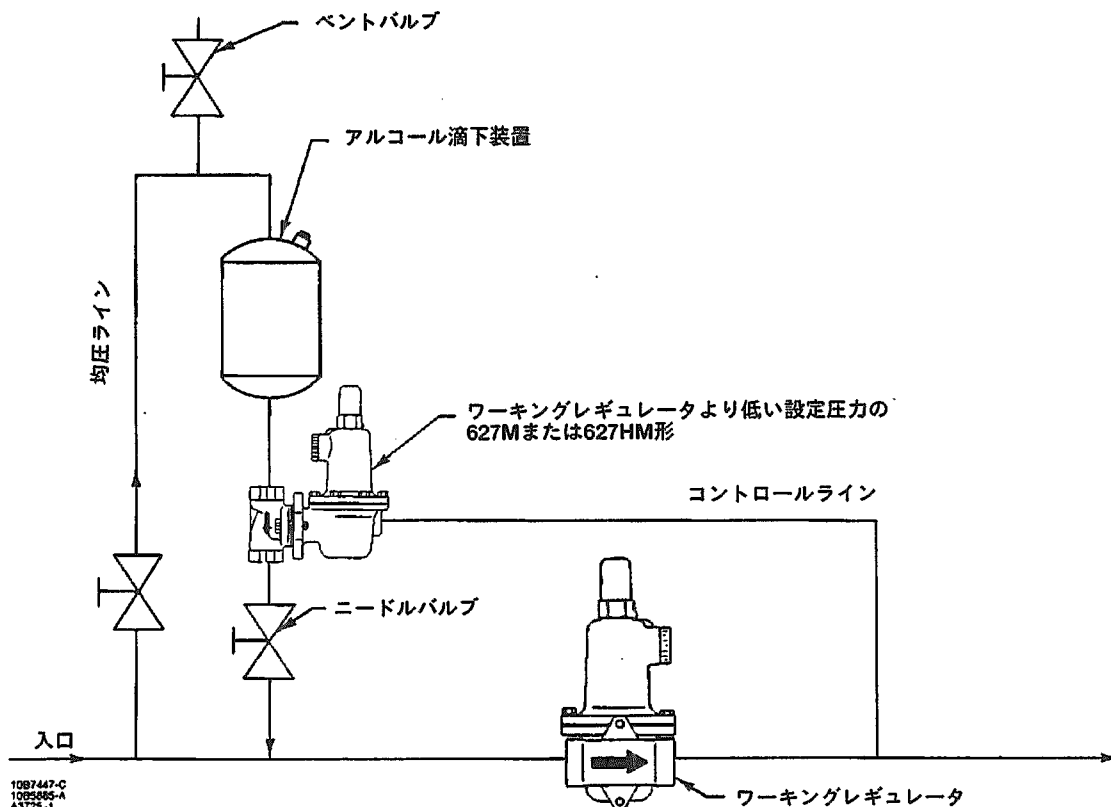


図 2. 凍結防止システムの概念図

- 2) 出荷されたレギュレータに損傷がないか、また異物が入っていないかを確認して下さい。
- 3) 配管およびネジ部が正常であり、異物がないことを確認して下さい。
- 4) レギュレータはボディ上に鑄出した矢印と配管の流れの向きが一致すれば、どの方向に取り付けても差し支えありません。
- 5) もし点検または保守中にも連続運転する必要がある場合、レギュレータ周りにバルブ3コ付きのバイパス配管を設けて下さい。

警告

レギュレータからごくわずかにガスが大気に漏れることがあります。危険性または爆発性ガスのサービスでは、これらのガスの蓄積によって、火災や爆発が発生し、人身事故や死亡事故または設備の損傷の原因となることがあります。危険性または爆発性ガス用に使用するレギュレータの排気は、空気取入口や他に危険

性がない安全な場所に誘導して下さい。ベントラインの管やその開口部は、結露したり目詰まりすることのないようにして下さい。

- 6) ボディ(キー1)および/またはダイヤフラムスプリングケース(キー29)の位置を、スクリーン付きベントに湿分や異物が入り込まない向きに取り付けて下さい。レギュレータ位置を再調整したい場合、ボディ部の"保守"の項および/またはダイヤフラムとスプリングケース部の"保守"の項を参照して、スクリーン付きベント位置を修正して下さい。

2-2. 以下のステップ7から9までは、627M、627HMと627MR形レギュレータだけに適応します。

- 7) 627M、627HMまたは627MR形レギュレータは、下流側コントロールラインが必要です。レギュレータ本体を据え付ける前に、コントロールラインを取り付けて下さい。
- 8) 下流側コントロールライン配管は、少なくとも3/8in以上の外径のチュービングであり、そしてレギュレータ下流側に出口配管径の10倍の直管部位置に接続してい

ることを確認して下さい。

- 9) 手動弁をコントロールラインに据え付けて下さい。この手動弁は、レギュレータのサイクリングまたは不安定動作となるコントロールラインの出力の脈動の制御と絞りに使用できます。

2-3. 遠隔ベントラインの据え付け

627シリーズレギュレータには、スプリングケース上の3/4NPTのベント穴にベント組品が取り付けられています。必要な場合、遠隔ベントラインを取り付けるため、このベント組は取り外すことができます。遠隔ベントラインはできるだけ大口径で短く、かつ曲がりを少なくして下さい。レギュレータが正確に作動するように、遠隔ベントラインの開口部は雨、雪、またはその他異物の侵入を防止し、塞がることがないようにして下さい。ベント管の開口部を定期的に点検し、目詰まりのないことを確認して下さい。

2-4. 627Mまたは627HM形レギュレータ凍結防止システムアプリケーション

図2の凍結防止システムの概念図を参照して下さい。ワーキングレギュレータが高差圧条件で使用されるに伴い、結氷がこのレギュレータに生じます。結氷が生成されるとポート径は狭まり、下流側に必要なガス量が供給できなくなります。下流側圧力が627Mまたは627HM形レギュレータの設定圧力以下になったとき、これらレギュレータのディスク組品はシートリングから離れ、アルコールをメインガスラインに流し込みます。メインガスラインの流れによってワーキングレギュレータに運ばれたアルコールは、シートリングにさらに結氷が生ずるのを防ぎます。正常な流量に戻り、下流側の圧力が回復すると627Mまたは627HM形レギュレータは閉じます。

3. 立ち上げと調整

3-1. 立ち上げ

警告

立ち上げの間に、レギュレータの損傷や爆発、または下流側の機器に基づく人身事故や設備の損傷を避けるため、レギュレータが過圧状態にならないように下流側圧力を放出して下さい。過圧状態とそれによる設備の損傷を避けるため、立ち上げ中は常に圧力計によって圧力を監視して下さい。

- 1) ゆっくりと上流側の仕切弁を開けます。

- 2) ゆっくりと下流側の仕切弁を開けます。

- 3) すべての接手部分の漏れをチェックします。

- 4) 調整の手順に従ってコントロールスプリングを最終調整して下さい。

3-2. 調整

許容圧力設定レンジはネームプレートに記載されています。もしレンジを超える圧力設定が必要な場合には、適切なコントロールスプリングと入れ替えて下さい。この場合には必ず新しいレンジを示すネームプレートに交換しておいて下さい。圧力設定を上げる場合には、表2、3、または4にて、コントロールスプリングレンジの圧力限界を確めて新しい圧力設定が過圧状態を引き起こさないことを確認して下さい。

注記

調整中は常に圧力計で圧力を監視して下さい。

キー番号については図6から11を参照下さい。

- 1) アジャスティングスクリューキャップ(キー36)を取り外して下さい。
- 2) ロックナット(キー34)を緩めて下さい。
- 3) アジャスティングスクリュー(キー35)を時計方向に廻すと出口圧力設定は上昇します。アジャスティングスクリューを反時計方向に廻すと出口圧力設定は下降します。
- 4) 所定の圧力が得られれば、アジャスティングスクリューをそのままにしてロックナット(キー34)を締めして下さい。

3-3. 作動停止

警告

作動停止中、爆発や、レギュレータまたは下流側機器の損傷に基づく人身事故や設備の損傷を避けるため、レギュレータのダイヤフラムが過圧状態にならないように下流側圧力をすべて放出して下さい。

- 1) 最も近い上流側の仕切弁を閉めます。
- 2) 最も近い下流側の仕切弁を閉めます。

表 4. 627R形の内部リリーフ性能⁽¹⁾

出口圧力レンジと コントロールスプ リングパーツ番号 (カラーコード)	出口圧力 設定、 barG {kgf/cm ² G}	最大許容下流 システム圧力 barG {kgf/cm ² G}	最大入口圧力、barG {kgf/cm ² G ⁽²⁾ }					
			圧力が上がった場合最大許容下流システム圧力を 保持するための最大入口圧力					
			ポート径、mm {in}					
			2.4 {3/32}	3.2 {1/8}	4.8 {3/16}	6.4 {1/4}	9.5 {3/8}	12.7 {1/2}
0.34~1.4barG {0.35~ 1.4kgf/cm ² G} 10B3076×012 (イエロー)	0.69 {0.7}	4.1{4.2}	86.2{87.8}	51.0{52.0}	22.1{22.4}	13.1{13.3}	6.6{6.6}	5.2{5.2}
		6.9{7.0}	138{140}	103{105}	42.7{43.5}	26.9{27.4}	12.4{12.6}	9.0{9.1}
		8.6{8.7}	138{140}	131{133}	57.2{58.3}	33.1{33.7}	15.2{15.4}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	46.2{47.1}	22.1{22.4}	15.2{15.4}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	89.6{91.3}	53.1{54.1}	24.8{25.3}	17.9{18.2}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.2{67.4}	31.0{31.6}	22.1{22.4}
	1.0 {1.0}	4.1{4.2}	69.0{70.3}	42.7{43.5}	17.9{18.2}	11.7{11.9}	6.2{6.3}	4.8{4.9}
		6.9{7.0}	138{140}	96.5{98.4}	42.1{42.8}	25.5{26.0}	11.7{11.9}	9.0{9.1}
		8.6{8.7}	138{140}	131{133}	55.8{56.9}	33.1{33.7}	15.2{15.4}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	46.2{47.1}	22.1{22.4}	15.2{15.4}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	89.6{91.3}	53.1{54.1}	24.8{25.3}	17.9{18.2}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.2{67.4}	31.0{31.6}	22.1{22.4}
1.4 {1.4}	4.1{4.2}	58.6{59.7}	33.8{34.4}	14.5{14.7}	9.0{9.1}	5.5{5.6}	4.6{4.5}	
	6.9{7.0}	138{140}	89.6{91.3}	41.4{42.1}	24.8{25.3}	11.7{11.9}	8.3{8.4}	
	8.6{8.7}	138{140}	124{126}	55.2{56.2}	33.1{33.7}	15.2{15.4}	11.0{11.2}	
	12.1{12.3}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	46.2{47.1}	22.1{22.4}	15.2{15.4}	
	13.8{14.0}	138{140}	138{140}	89.6{91.3}	53.1{54.1}	24.8{25.3}	17.9{18.2}	
	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.2{67.4}	31.0{31.6}	22.1{22.4}	
1.0~2.8barG {1.0~ 2.8kgf/cm ² G} 10B3077×012 (グリーン)	1.0 {1.0}	4.1{4.2}	69.0{70.3}	33.8{34.4}	14.5{14.7}	9.0{9.1}	5.5{5.6}	4.5{4.5}
		6.9{7.0}	138{140}	89.6{91.3}	40.7{41.4}	24.1{24.6}	11.7{11.9}	8.3{8.4}
		8.6{8.7}	138{140}	124{126}	55.2{56.2}	32.4{33.0}	15.2{15.4}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	44.1{44.9}	22.1{22.4}	15.2{15.4}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	89.6{91.3}	53.8{54.8}	25.5{26.0}	17.9{18.2}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.2{67.4}	31.0{31.6}	22.1{22.4}
	1.4 {1.4}	4.1{4.2}	43.4{44.2}	13.8{14}	10.3{10.5}	6.9{7.0}	4.8{4.9}	4.5{4.5}
		6.9{7.0}	138{140}	82.7{84}	37.9{38.6}	22.8{23.1}	11.0{11.2}	8.3{8.4}
		8.6{8.7}	138{140}	117{119}	52.4{53.4}	31.0{31.6}	14.5{14.7}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	43.4{44.2}	22.1{22.4}	15.2{15.4}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	89.6{91.3}	53.1{54.1}	24.8{25.3}	17.9{18.2}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.2{67.4}	31.7{32.3}	22.1{22.4}
2.1 {2.1}	6.9{7.0}	138{140}	65.5{66.7}	31.0{31.6}	17.9{18.2}	9.7{9.8}	7.6{7.7}	
	8.6{8.7}	138{140}	103{105}	46.2{47.1}	27.6{28.1}	13.1{13.3}	10.3{10.5}	
	12.1{12.3}	138{140}	138{140}	69.0{70.3}	42.0{42.8}	20.7{21.0}	15.2{15.4}	
	13.8{14.0}	138{140}	138{140}	82.7{80.3}	52.4{53.4}	24.8{25.3}	17.9{18.2}	
	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.9{68.1}	31.7{32.3}	22.1{22.4}	
	2.8 {2.8}	6.9{7.0}	103{105}	48.3{49.2}	22.8{23.1}	13.8{14.0}	8.3{8.4}	7.4{7.5}
8.6{8.7}		138{140}	89.6{91.3}	38.6{39.3}	23.4{23.9}	12.4{12.6}	9.7{9.8}	
12.1{12.3}		138{140}	124{126}	69.0{70.3}	37.9{38.6}	20.0{20.3}	15.2{15.4}	
13.8{14.0}		138{140}	138{140}	82.7{80.3}	50.3{51.3}	24.1{24.6}	17.2{17.5}	
17.2{17.5}		138{140}	138{140}	110{112}	66.9{68.1}	31.7{32.3}	22.1{22.4}	

(つづく)

表 4. 627R形の内部リリーフ性能⁽¹⁾ (つづき)

出口圧レンジと コントロールスプ リングパーツ番号 (カラーコード)	出口圧力 設定、 barG {kgf/cm ² G}	最大許容下流 システム圧力 barG {kgf/cm ² G}	最大入口圧力、barG {kgf/cm ² G ⁽²⁾ }					
			圧力が上がった場合最大許容下流システム圧力を 保持するための最大入口圧力					
			ポート径、mm (in)					
			2.4 (3/32)	3.2 (1/8)	4.8 (3/16)	6.4 (1/4)	9.5 (3/8)	12.7 (1/2)
2.4~5.5barG {2.4~ 5.6kgf/cm ² G} 10B3078×012 (ブルー)	2.8 (2.8)	8.6{8.7}	138{140}	75.8{77.3}	34.5{35.1}	20.7{21.0}	11.7{11.9}	9.7{9.8}
		10.3{10.5}	138{140}	110{112}	51.7{52.7}	30.3{30.9}	15.9{16.1}	12.4{12.6}
		12.1{12.3}	138{140}	138{140}	67.6{68.8}	40.0{40.7}	20.0{20.3}	15.2{15.4}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	82.7{84.3}	49.6{50.6}	23.4{23.9}	17.2{17.5}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	64.8{66.0}	31.0{31.6}	22.1{22.4}
	3.4 (3.5)	8.6{8.7}	96.5{98.4}	56.5{57.6}	27.6{28.1}	15.9{16.1}	10.3{10.5}	9.7{9.8}
		10.3{10.5}	138{140}	96.5{98.4}	44.8{45.6}	25.5{26.0}	14.5{14.7}	11.7{11.9}
		12.1{12.3}	138{140}	131{133}	48.3{49.2}	36.5{37.2}	18.6{18.9}	14.5{14.7}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	46.2{47.1}	22.8{23.1}	16.5{16.8}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	103{105}	63.4{64.6}	29.6{30.2}	22.1{22.4}
	4.1 (4.2)	8.6{8.7}	62.1{63.2}	31.0{31.6}	18.6{18.9}	13.1{13.3}	9.7{9.8}	9.0{9.1}
		10.3{10.5}	117{119}	75.8{77.3}	37.2{37.9}	20.7{21.0}	13.1{13.3}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	117{119}	53.8{54.8}	32.4{33.0}	17.2{17.5}	13.8{14.0}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	69.0{70.3}	42.0{42.8}	21.4{21.7}	15.9{16.1}
		17.2{17.5}	138{140}	138{140}	96.5{98.4}	60.7{61.8}	29.0{29.5}	21.4{21.7}
	4.8 (4.9)	10.3{10.5}	82.7{84.3}	58.6{59.7}	29.6{30.2}	17.2{17.5}	11.7{11.9}	11.0{11.2}
		12.1{12.3}	138{140}	96.5{98.4}	46.2{47.1}	27.6{28.1}	15.9{16.1}	13.1{13.3}
		13.8{14.0}	138{140}	138{140}	63.4{64.6}	37.9{38.6}	19.3{19.6}	15.9{16.1}
17.2{17.5}		138{140}	138{140}	89.6{91.3}	57.2{58.3}	27.6{28.1}	21.4{21.7}	
10.3{10.5}		55.2{56.2}	34.5{35.1}	20.7{21.0}	13.8{14.0}	11.0{11.2}	10.3{10.5}	
5.5 (5.6)	12.1{12.3}	103{105}	82.7{84.3}	37.9{38.6}	22.8{23.1}	14.5{14.7}	13.1{13.3}	
	13.8{14.0}	138{140}	117{119}	55.2{56.2}	33.1{33.7}	18.6{18.9}	15.2{15.4}	
	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	82.7{84.3}	53.1{54.1}	26.9{27.4}	20.7{21.0}	
	12.1{12.3}	131{133}	41.4{42.1}	27.6{28.1}	17.9{18.2}	13.8{14.0}	12.0{12.3}	
	13.8{14.0}	138{140}	82.7{84.3}	43.4{44.2}	26.2{26.7}	17.2{17.5}	14.5{14.7}	
4.8~10.3barG (4.9~ 10.5kgf/cm ² G) 10B3079×012 (レッド)	4.8 (4.9)	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	75.8{77.3}	46.9{47.8}	24.8{25.3}	20.0{20.3}
		12.1{12.3}	96.5{98.4}	17.2{17.5}	16.5{16.8}	13.8{14.0}	13.1{13.3}	12.1{12.3}
		13.8{14.0}	138{140}	66.2{67.4}	35.9{36.5}	22.8{23.1}	16.5{16.8}	14.5{14.7}
	6.9 (7.0)	17.2{17.5}	138{140}	110{112}	53.1{54.1}	35.9{36.5}	22.1{22.4}	18.6{18.9}
		8.6{8.7}	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.9{68.1}	31.7{32.3}
10.3{10.5}	17.2{17.5}	138{140}	138{140}	110{112}	66.9{68.1}	31.7{32.3}	22.1{22.4}	

1. 内部リリーフ性能はディスク組を取り外すことによって得られます。
2. 69barG {70.3kgf/cm²G} を超える入口圧力の場合は、“表 1.仕様” の最大入口圧力 (ボディ定格) および最大バルブディスク入口圧力定格を参照下さい。
3. 0.69barG {0.70kgf/cm²G} 以下の圧力設定では、設定点の調整を可能にするために入口圧力は約6.9barG {7kgf/cm²G} に制限して下さい。
4. ■■■ は系が故障の間に許容する最大入口圧力を示します。表 1 は、通常のレギュレータ作動時の最大入口圧力を示します。

表 5. 最大トルク値

キー番号 ⁽¹⁾	部品名	N・m {kgf・m}
2	シートリング	34 {3.4}
3	ボルト (アルミニウム製ダイヤフラムケーシング用)	22 {2.2}
	ボルト (ダクタイル鋳鉄または鋼製ダイヤフラムケーシング用)	34 {3.4}
18	レバー、ボルト	9 {0.9}
22	ダイヤフラム コネクタ ナット	23 {2.3}
26	ガイドリテーナ (627Rと627MR形のみ)	4 {0.4}
37	スプリングケースボルト (アルミニウムまたはダクタイル鋳鉄器ダイヤフラムケーシング)	9 {0.9}
	スプリングケースボルト (鋼製ダイヤフラムケーシング)	47 {4.7}
46	ダイヤフラムボルト (627形または627M形用)	9 {0.9}
	ダイヤフラムボルト (627H形または627HM形用)	19 {1.9}
1. キー番号については図6から9を参照下さい。		

3)レギュレータとそれに最も近い下流側の仕切弁の間にあるベント弁を開けて下さい。

4)627、627Hまたは627R形レギュレータは上流側仕切弁とレギュレータの間の圧力を逃すため開きます。

5)627M、627HMまたは627MR形レギュレータは、保守の前にレギュレータから下流側圧力とコントロールライン圧力を放出する必要があります。仕切弁間の圧力は、コントロールライン圧力の減少に応じてディスク組品が開となり、レギュレータから圧力を放出します。

4. 保守

特に指定がない限り、下記保守要領を適用して下さい。627形シリーズレギュレータに必要な最大トルク値は表5に示してあります。

ディスク組、シートリングおよびダイヤフラムのようなレギュレータパーツが、使用に伴う摩擦、外部からの損

傷、または流体に含まれる異物による損傷がないか定期的に点検し、レギュレータの性能を維持するために必要に応じてこれらの部品を交換して下さい。点検と部品交換の頻度は、使用条件の苛酷さと適用される規則等によって決まります。シートリングとディスク組の摩擦は、差圧条件および流体に含まれる異物によって激増します。ディスク組、シートリング、ダイヤフラム、およびOリングの交換の要領は下記のとおりです。これらの要領は他の部品の点検と交換の際にも適応することができます。

4-1. 627Rと627MR形レギュレータの不具合指示

警告

プロセス圧力の突出または爆発による人身事故または設備の損傷を避けるため、レギュレータからすべての圧力を隔離して下さい。レギュレータの分解に着手する前に、レギュレータからすべての圧力を放出して下さい。

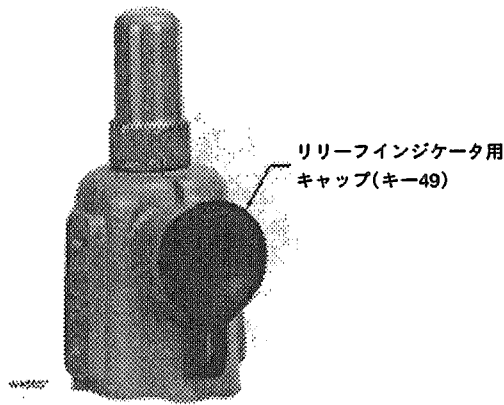


図 3. リリーフインジケータ

ベント組品には、リリーフ・インジケータ(キー49、図3)が付いています。ベント組品上のリリーフ・インジケータ用キャップは、リリーフバルブからの圧力によって素早く開きます。もしリリーフバルブがワイドに開いた場合は、排出ガスがスクリーンベント組品上のキャップを外し、レギュレータの不具合を示します。もしキャップが外れたならば、“3-3. 作動停止”および“4-2. ボディ部の保守要領”を参照して、ディスク組品とシートリングを点検して下さい。

もし、ディスク組品とシートリングが損傷していなければ、“4-3. ダイアフラムとスプリングケース部の保守要領”を参照して下さい。

レギュレータを配管ラインから取り外さないでディスク組品とシートリングを検査し、交換することもできます。この場合は、“4-2. ボディ部の保守要領”を参照して下さい。

4-2. ボディ部の保守要領

下記手順を実施する前に、すべての圧力をダイアフラムケーシングから放出して下さい。

下記手順を実施する間は、特に指定がない限り、部品のキー番号は図6から11を参照して下さい。

4-2-1. ディスク組品またはシートリングの交換

1) ディスク組品(キー9)またはシートリング(キー2)の点検および交換を行うために、ボルト(キー3、図4)を取り外し、ダイアフラムケーシング(キー5)をボディ(キー1)から分離して下さい。

2) ディスク組品またはシートリングを点検し、必要に応

じてシートリング(キー2)を取り外して下さい。シートリング交換の場合は、新しいシートリングのネジ部に潤滑剤(キー38)を塗って、 $34\text{N}\cdot\text{m}(3.4\text{kfg}\cdot\text{m})$ のトルクで締め込んで下さい。

3) ディスク組品を点検し、必要に応じてディスク組品(キー9)を固定しているヘヤピンクリップ(キー13)を取り外して下さい。ディスク組品が交換でなく保守だけで済む場合は、ステップ16へ進んで下さい。

4-2-2. ステム組品の交換

ステム組品の保守・点検が必要な場合、627、627Hと627R形レギュレータについては下記のステップ4～8および15～19へ、また627M、627HMと627MR形レギュレータについてはステップ9～19に進んで下さい。

4-2-3. 627、627Hと627R形レギュレータのみステップ4から8へ進んで下さい。

4) 図4を参照してステップ5～8を実行して下さい。

5) ダイアフラムケーシング(キー5)からブーストボディ(キー6)、スタビライザ(キー7)とステムガイド(キー8)を外して下さい。ダイアフラムケーシング(キー5)からステム(キー10)を外して下さい。

6) ダイアフラムケーシングOリング(キー4、図6、7、または10)を外して点検し、必要な場合は交換して下さい。

7) 交換するダイアフラムケーシングOリング(キー4、図6、7、または10)に、潤滑剤(キー42)を塗ってブーストボディ(キー6)に取り付けて下さい。ステップ14へ進んで下さい。

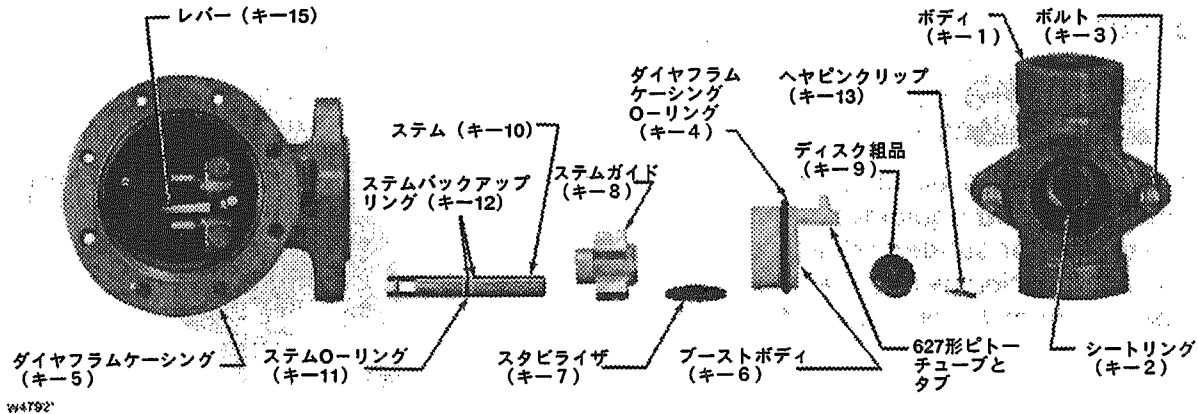
8) 627または627H形レギュレータについては、ボディ出口側(図6または10参照)にピトーチューブが取り付けられていることを確認して下さい。ステップ14へ進んで下さい。

4-2-4. 627M、627HMと627MR形レギュレータのみステップ9から19へ進んで下さい。

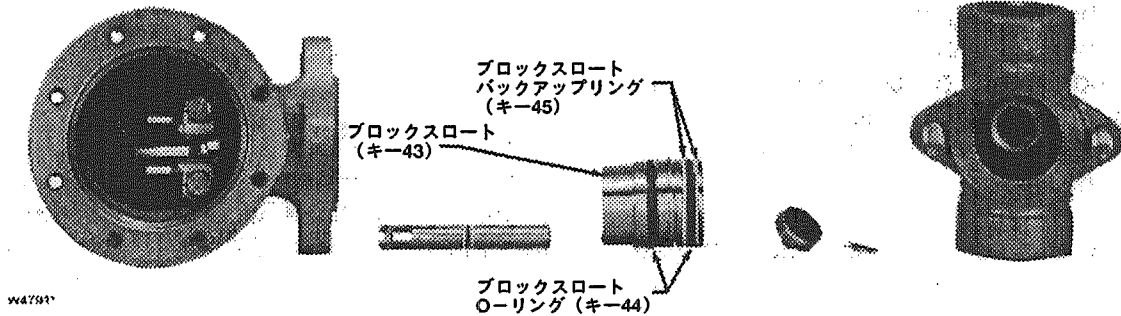
9) 図4を参照してステップ10～14を実行して下さい。

10) ブロックスロット(キー43)を外すため、スクリュードライバの先端部をスロット部品の溝に入れて、ダイアフラムケーシング(キー5)から引き出して下さい。この部品を点検して、必要な場合は交換して下さい。

11) ブロックスロットOリング(キー44、図4)とバック



627と627R形



627Mと627MR形

図4. ステム組品

アップリング(キー45、図4)も点検して、必要な場合は交換して下さい。

12) 交換するブロックスロートOリング(キー44)とバックアップリング(キー45)に潤滑剤(キー42)を塗布して下さい。

13) 交換するステムOリング(キー11)とステムバックアップリング(キー12)に潤滑剤(キー42)を塗布し、ステム(キー10)に組み付けて下さい。

14) ダイアフラムケーシング(キー5)にステム(キー10)を挿入して、レバー(キー15)に止めて下さい。

15) ステップ5と6または10(図4参照)で外した部品をダイアフラムケーシング(キー5)内に再組み付けて下さい。

16) ディスク組品(キー9)を組み付け、ディスク組品とステム(キー10)の穴位置を揃えてヘアピンクリップ(キー13)を挿入して下さい。

17) ボディ(キー1)と連結するダイアフラムケーシングと

関連部品を位置決めして下さい。

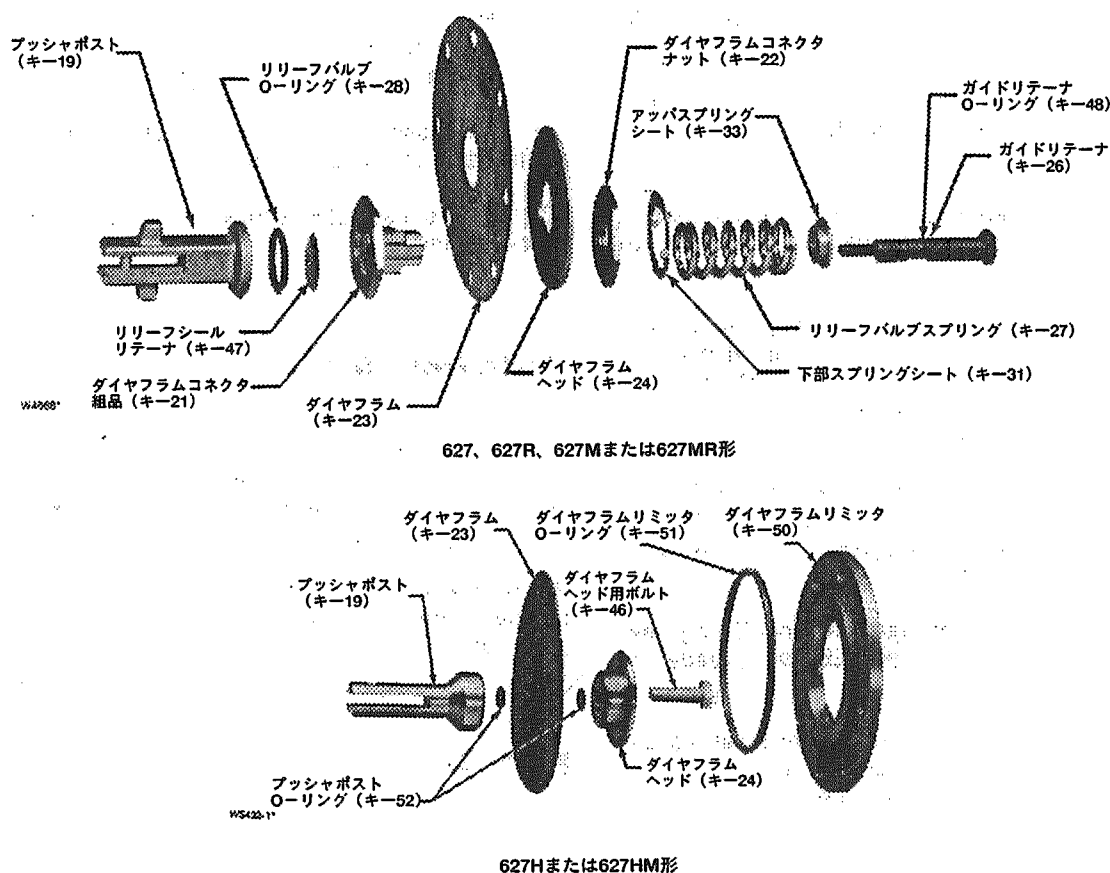
18) ボルト(キー3、図4)でボディとダイアフラムケーシングを組み付けて下さい。アルミニウムダイアフラムケーシング(キー5)用では、ボルトのトルクは $22\text{N}\cdot\text{m}$ ($2.2\text{kgf}\cdot\text{m}$)、またダクタイル鋳鉄またはスチールダイアフラムケーシング用では、ボルトのトルクが $34\text{N}\cdot\text{m}$ ($3.4\text{kgf}\cdot\text{m}$)となります。

19) スプリングケースベント部から入る雨、異物などを防ぐために、ダイアフラムスプリングケース位置をずらす必要がある場合、下記“4-3. ダイアフラムとスプリングケース部の保守要領”のステップ1、2、そして21～25を参照して下さい。

4-3. ダイアフラムとスプリングケース部の保守要領

下記手順を実施する前に、すべての圧力をレギュレータから解放して下さい。

下記手順を実施する間は、特に指定がない限り、部品のキー番号は図6から11を参照して下さい。



627、627R、627Mまたは627MR形

627Hまたは627HM形

図5. ダイアフラム組品

- 1) アジャスティングスクリーキャップ(キー36)を取り外し、ロックナットをゆるめ、コントロールスプリング(キー32)の圧縮がなくなるまでアジャスティングスクリー(キー35)を反時計方向に廻して下さい。
 - 2) スプリングケース用ボルト(キー37)とネームプレートを取り外し、スプリングケース(キー29)を外して下さい。もしコントロールスプリング(キー32)の交換またはスプリングケース(キー29)の位置変更を行う場合は、交換用コントロールスプリングに入れ換えるか、スプリングケース位置をずらして下さい。ダイアフラム部の保守を行う場合はステップ3に進んで下さい。その必要がなければステップ21に進んで下さい。
 - 3) ダイアフラムリミッタとOリング(キー50と51、ただし627Hまたは627HM形のみ使用)を外して下さい。ダイアフラム組品を傾けて取り出し、プッシュポスト(キー19)をレバー(キー15)から滑り出させます。
 - 4) もし、レバー組品を交換する必要があるれば、レバー用ボルト(キー18)を取り外します。
 - 5) レバーピンを挿入して交換用のレバー(キー15)をレバーリテーナ(キー16)に取り付けます。レバー組品をダイアフラムケーシングの中にレバー用ボルト(キー18)で組み付け、 $9\text{N}\cdot\text{m}\{0.9\text{kgf}\cdot\text{m}\}$ のトルクで締め付けて下さい。
- もし、ダイアフラム組品の保守を行うのであれば、627、627H、627Mそして627HM形レギュレータについてはステップ6～11と20に、627Rと627MR形レギュレータについてはステップ12～19に進んで下さい。
- 4-3-1. 627、627H、627Mそして627HM形レギュレータのみステップ6～11を行って下さい。
- 6) 図4と5を参照して、下記ステップ7～11でダイアフラム組品の分解と再組み付けを行って下さい。
 - 7) ダイアフラムヘッド用ボルト(キー46)、下部スプリングシート(キー31、ただし627または627M形のみ)そしてダイアフラムヘッド(キー24)を外して下さい。627Hまたは627HM形については、プッシュポストOリング(キー52)を外し、プッシュポスト(キー19)か

らダイヤフラム(キー23)を分離して下さい。

- 8)ダイヤフラム(キー23)に、ステップ7の順序と逆に組み付けダイヤフラムヘッド用ボルト(キー46)を指で締めして下さい。
 - 9)プッシュポストをレバー(キー15)に引っ掛けてから、スプリングケーシングのボルト穴とダイヤフラムのボルト穴が合うようにダイヤフラム(キー23)の位置を定めて下さい。
 - 10)プッシュポストをレバーから外して、627または627M形レギュレータ用ではダイヤフラムヘッド用ボルト(キー46)を $9\text{N}\cdot\text{m}$ ($0.9\text{kgf}\cdot\text{m}$)のトルクで締め付けて下さい。627Hまたは627HM形の場合には、同様に $18\text{N}\cdot\text{m}$ ($1.8\text{kgf}\cdot\text{m}$)で締め付けて下さい。
 - 11)プッシュポストをレバー(キー15)に引っ掛けてダイヤフラムのボルト穴位置を確認して下さい。必要に応じてボルト(キー46)を緩めて、プッシュポスト(キー19)上のダイヤフラム(キー23)位置を再調整してからボルトを再度締め付けて下さい。次にステップ20に進んで下さい。
- 4-3-2. 627Rと627MR形レギュレータについては、ステップ12~19を行って下さい。
- 12)図5を参照して、下記ステップ13~19でダイヤフラム組品の分解と再組み付けを行って下さい。
 - 13)ガイドリテーナ(キー26)とダイヤフラム部品類を外して下さい。
 - 14)ダイヤフラム(キー23)を外すため、ダイヤフラムコネクタナット(キー22)を緩め、コネクタ組品(キー21)からダイヤフラムヘッド(キー24)とダイヤフラム(キー23)を外して下さい。コネクタ組品(キー21)は分解しないで下さい。
 - 15)コネクタ(キー21)に交換用のダイヤフラムとダイヤフラムヘッドを取り付けた後、コネクタナット(キー22)を $32\text{N}\cdot\text{m}$ ($3.2\text{kgf}\cdot\text{m}$)のトルクで締め付けて下さい。
 - 16)必要に応じて、ガイドリテーナOリング(キー48)を交換して下さい。
 - 17)プッシュポスト(キー19)上にリリーフシールOリング(キー28)を取り付け、潤滑(キー42)して下さい。その後、リリーフシールリテーナ(キー47)、ダイヤフラムコネクタ組品(キー21、取り付け部品含む)、リリーフスプリング(キー27)、上部リリーフスプリングガイ

ド(キー33)、そしてガイドリテーナ(キー26)を取り付けます。ガイドリテーナ(キー26)を $4\text{N}\cdot\text{m}$ ($0.4\text{kgf}\cdot\text{m}$)のトルクで締め付けます。

- 18)プッシュポストをレバー(キー15)に引っ掛けてから、スプリングケーシングのボルト穴とダイヤフラムのボルト穴が合うようにダイヤフラム(キー23)の位置を定めて下さい。もし穴位置が不揃いならば、プッシュポストをレバーから外して、ダイヤフラム位置を再調整して下さい。
- 19)下部スプリングシート(キー31)をリリーフスプリングの上から取り付けます。コネクタナット(キー22)上が平面になります。
- 20)ダイヤフラム組品をダイヤフラムケーシング(キー5)に挿入し、プッシュポストをレバー(キー15)に引っ掛けます。
- 21)コントロールスプリング(キー32)と上部スプリングシート(キー33)を取り付け、上部スプリングシート(キー33)に潤滑剤(キー38)を塗布して下さい。
- 22)スクリーン付きベント組品(キー30)が使用用途に合った位置に来るようにスプリングケース(キー29)を取り付けて下さい。ネームプレート(キー39)をボルトホール上に載せ、ボルト(キー37)を挿入して指で締めして下さい。
- 23)ダイヤフラム(キー23)に適度なたるみを持たせるようにアジャストメントネジを締めます。
- 24)スプリングケース用ボルト(キー37)を、対角状に交互にトルク $9\text{N}\cdot\text{m}$ ($0.9\text{kgf}\cdot\text{m}$)で締めして下さい。
- 25)必要に応じて、“2. 据え付け”、“3. 立ち上げと調整”を参照して下さい。
- 26)レギュレータ調整後、アジャスティングスクリー・キャップ(キー36)を取り付けて下さい。

5. 部品注文

販売代理店または弊社セールスエンジニアに交換部品などのご注文をする際には、このレギュレータに取り付けてあるネームプレート(キー39、図6~11)上に打刻されている製品仕様をお知らせ下さい。

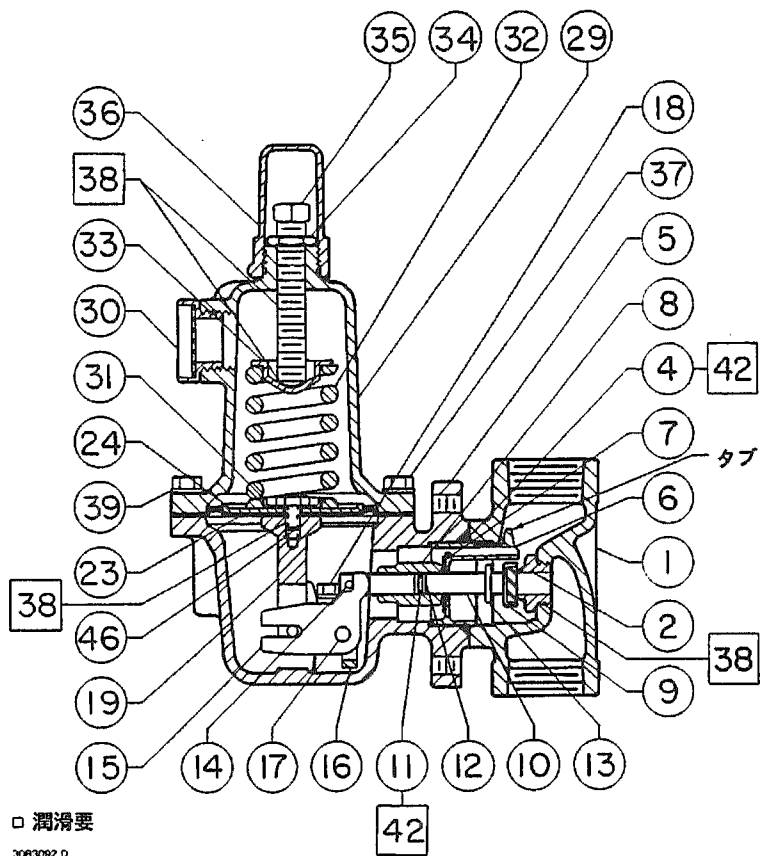


図 6. 627形レギュレータ

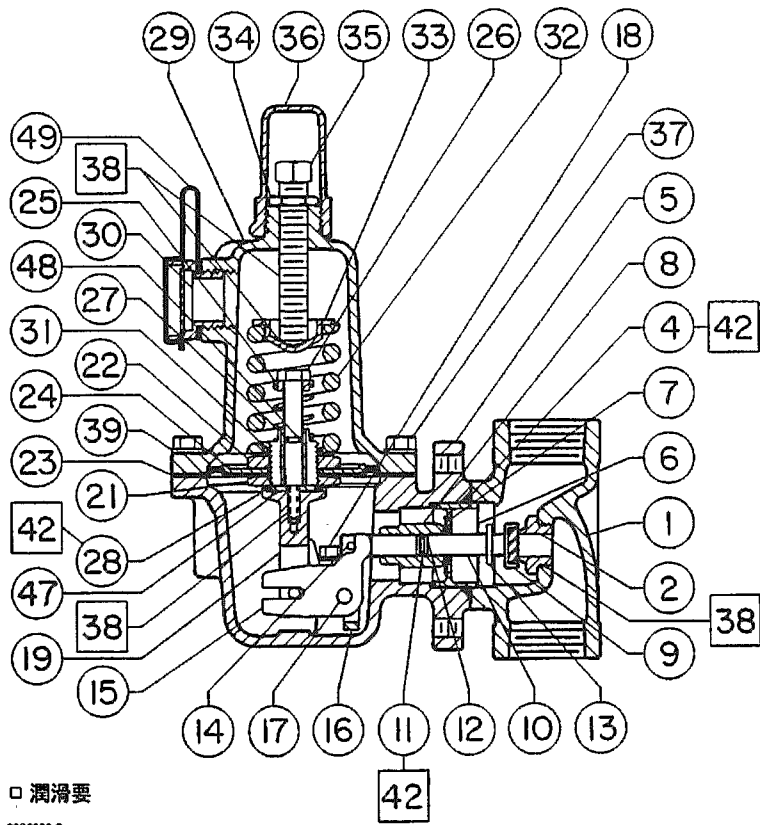


図 7. 627R形レギュレータ

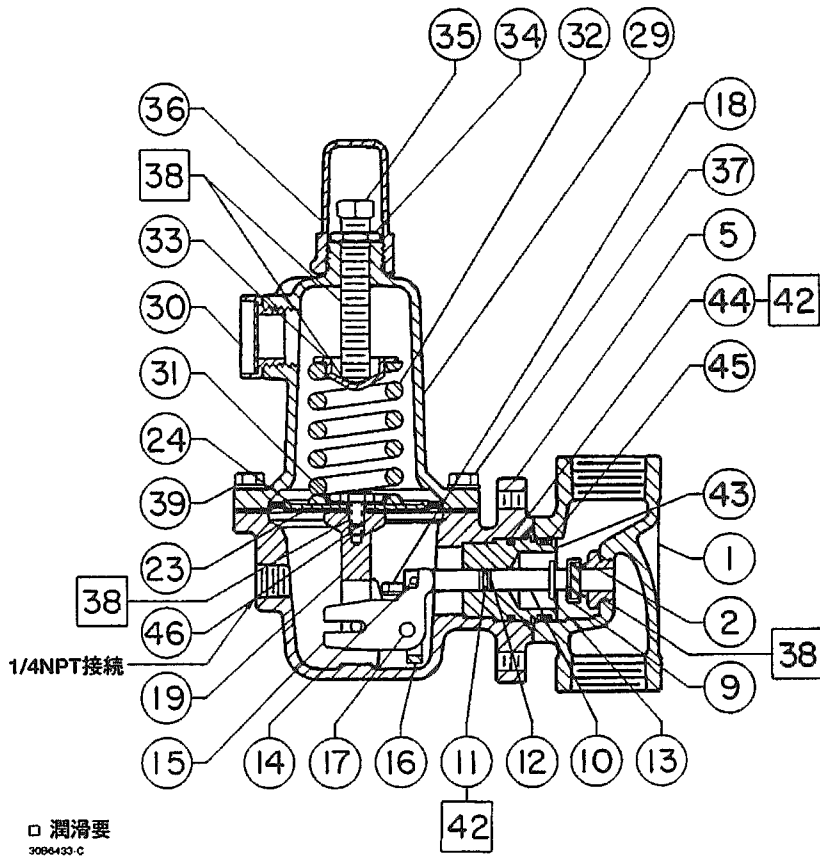


図 8. 627M形レギュレータ

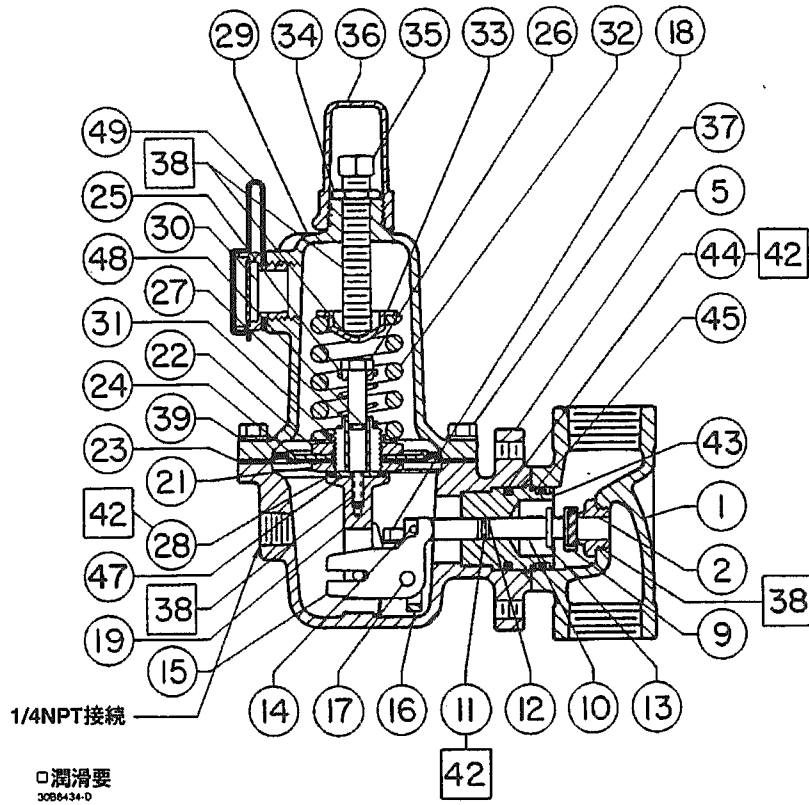


図 9. 627MR形レギュレータ

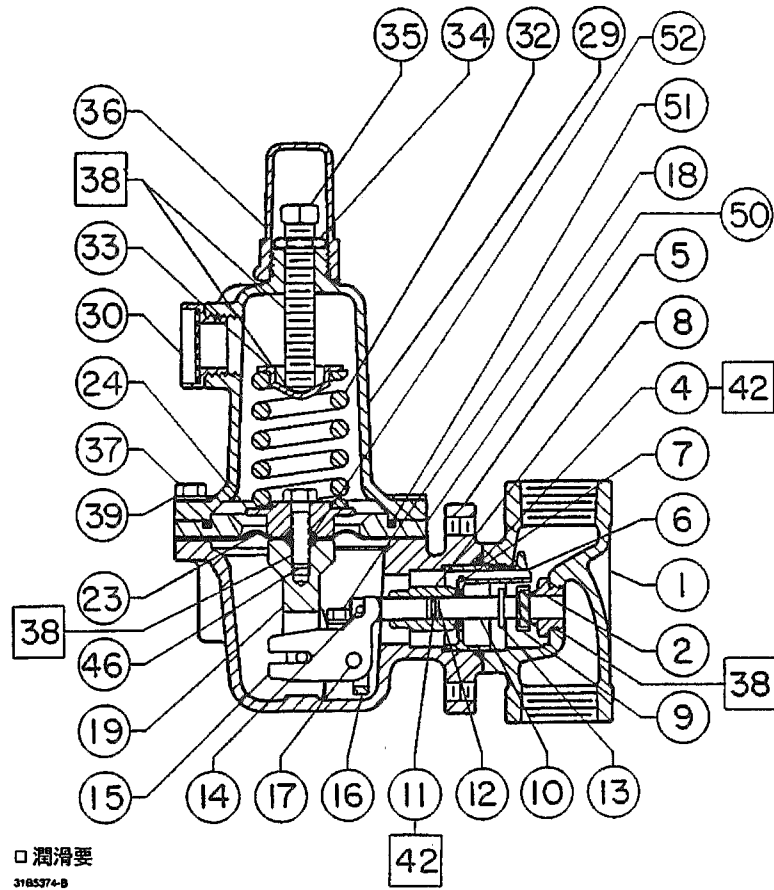


図10. 627H形レギュレータ

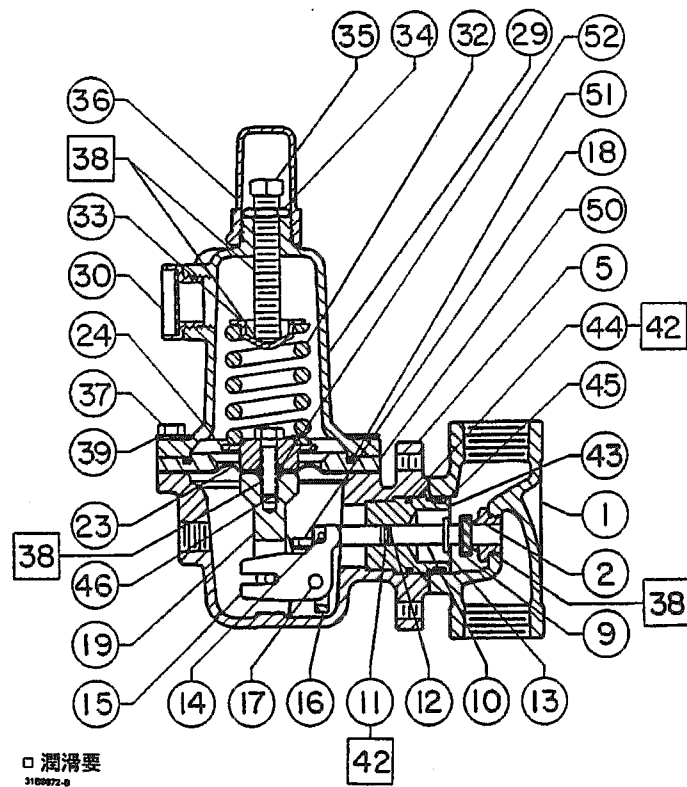


図11. 627HM形レギュレータ

部品表(キー番号の*印は推奨予備品を示します。)

キー番号	部品名称	数量
1	ボディ	1
2*	シートリング	1
3	ボルト	2
4*	ダイヤフラムケーシングO-リング (627、627H、627R形用)	1
5	ダイヤフラムケーシング	1
6	ブーストボディ (627、627H、627R形用)	1
7	スタビライザ (627、627H、627R形用)	1
8	ステムガイド (627、627H、627R形用)	1
9*	ディスク組品	1
10	ステム	1
11*	ステム用O-リング	1
12	ステムバックアップリング	2
13	ヘヤピンクリップ	1
14	ドライブピン	1
15	レバー	1
16	レバーリテーナ	1
17	レバーピン	1
18	レバー用ボルト	2
19	プッシュポスト	1
21	ダイヤフラムコネクタ (627R、627MR形用)	1
22	ダイヤフラムコネクタナット (627R、627MR形用)	1
23*	ダイヤフラム	1
24	ダイヤフラムヘッド	1
25	リリーフスプリングシート (627R、627MR形用)	1
26	ガイドリテーナ(627R、627MR形用)	1

27	リリーフスプリング (627R、627MR形用)	1
28*	リリーフシールO-リング (627R、627MR形用)	1
29	スプリングケース	1
30	スクリーンベント組品	1
31	下部スプリングシート	1
32	コントロールスプリング	1
33	上部スプリングシート	1
34	ロックナット	1
35	アジャスティングスクリュー	1
36	アジャスティングスクリュー・キャップ	1
37	スプリングケース用ボルト	8
38*	潤滑剤Mag-1 ⁽¹⁾ (別売品)	
39	ネームプレート	1
42*	ダウコーニング33 ⁽²⁾ 、ルブリカント(別売品)	
43	ブロックスロート (627M、627HM、627MR形用)	1
44	ブロックスロートO-リング (627M、627HM、627MR形用)	2
45	ブロックスロートバックアップリング (627M、627HM、627MR形用)	2
46	ダイヤフラムヘッド用ボルト (627、627M、627H、627HM形用)	1
47	リリーフシールリテーナ (627R、627MR形用)	1
48*	ガイドリテーナO-リング (627R、627MR形用)	1
49	リリーフィンジケーター (627R、627MR形用)	1
50	ダイヤフラムリミッタ	1
51*	ダイヤフラムリミッタO-リング	1
52*	プッシュポストO-リング	2

- 注1. Fiske Brothers Refining, Co.のトレードマークです。
 2. Tretolite Division of Petrolite Corp.のトレードマークです。

本取扱説明書の内容は、できる限り正確を記すことに努めておりますが、万一、誤記錯誤、または不都合がありましたらご容赦願います。記載された商品について、その性能、目的適合性、市場性、またはその他の記載商品に関する事項につき、不明な点や疑義がありましたら、あらかじめ弊社へお問い合わせの上、適正にご使用ください。
 なお、弊社製品をご使用の際には、あらかじめ必ず取扱説明書をお読みください。特に警告・注意・注記についてはよくお読みいただき、正しく取り付け、調整、保守などを行ってください。また、商品の誤用や改造に対する損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
 記載内容は、あらかじめご連絡申し上げることなく変更することがありますので、ご了承ください。

お引き合いの際は、お手数ですが販売代理店または弊社にご連絡ください。
 弊社連絡先☎:



日本フイツシヤ株式会社

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川1丁目2番5号 品川NFビル4F TEL 03(5769)6900(代)

本書の著作権は、弊社に帰属しています。®